

横山興業 株式会社

従業員数195人 業種:輸送用機械器具製造業

定着率

97%

株式会社 黒田精機製作所

従業員数294人 業種:輸送用機械器具製造業

定着率

100%

イキイキと働く人材採用の秘訣

自社の社風、求める人を明確にして採用する

●横山興業 代表取締役社長 横山 栄介

社風をよく理解して、
会社に合う人を探る

豊田市で、自動車のシート部品製造や建築建材の加工・販売、自社商品BIRDYの生産・販売などの事業を行っている横山興業。社長の横山栄介さんにお話をうかがいました。

横山社長が従業員から感じる横山興業の社風は「親切・丁寧・優しい」だそうです。それは、一見すると甘いようにも聞こえるかもしれません、そうではありません。親切で、丁寧で、優しくあるためには、相手の立場や気持ちを汲み取る感覚と心が必要。決して簡単なことではないのです。

この社風が表れているのが、新入社員への教育方針。仕事の仕方はもちろん、何よりも「この会社で働いて自分自身も幸せになるためには、社会人としてどういう心持ちで仕事を臨むべきか」というところに主眼を置いて教育するのだそうです。ま

た、「多くの先輩に触れて、横山興業に早く馴染んでほしい」という思いで、各部署を1ヶ月かけて回るローテーション研修を実施しています。

そして、横山興業に合う人は、「親切・丁寧・優しい」という社風の中で、「創意無限・脱皮成長」の社是を力強く実践できる人。大切なのは、その自社の社風をよく理解して採用活動に臨むことだと、横山社長は言います。

では、採用の時点でそれを見極めるには?との質問に対しては、「常に自社に合ったやり方を探しながら場数を踏むことが大切で、採用活動ができる人を育てることが重要」と訴えます。場数を踏んだ担当者が、経験の浅い担当者に対して「この会社に合う人材、求める人材」を明確にしながら意見を交わし、共に採用活動をする。そして、社風に合う人を見極める目をしっかりと養っていくのです。

社風に合った人と、
社風に合ったやり方で

横山興業には、育成のための取り組みとして、職場でのOJTや入社6ヶ月後のフォローがあります。それは「親切・丁寧・優しい」という土台があつて生きるもの。

採用でも同じで、まずは「親切・丁寧・優しい」という土台をチェックした上で、能力や意欲といった部分を見ていくことが大切です。

採用においては「こんな力に長けた人が欲しい」という狙いももちろん重要ですが、その土台として、「社風に合うか」という視点も忘れてはならないということを、強く感じさせてくれる事例でした。



横山興業株式会社
横山 栄介さん
代表取締役社長
所在地／愛知県豊田市
電話番号／0565-88-7010



人間力をつくる育成の秘訣

学び続ける姿勢が、人を育てる

●黒田精機製作所 代表取締役社長 黒田 敏裕

良い品質の裏には
必ず良い「人」がいる

黒田精機製作所は、自動車のブレーキやエンジン部品を中心に取り扱っているメーカー。

黒田社長の「良い品質の製品を作り続けるには、まず人を育てることが大切」という考え方の経営のもと、ここ約3年もの間、正社員の定着率100%という結果を残しています(2017年12月現在)。

従業員の定着のために具体的に行っていることのひとつに、一人ひとりに合わせた柔軟な人事異動があります。各々の適性や要望、事情をよく考慮して、人事配置を決定するので、従業員は安心して働くことができます。

また、自発的な品質管理活動を促進するQCサークル、会社のことを知る自社理解研修などの社内イベントも積極的に開催し、この会社でステップアップするための環境を整

えています。

新卒者向けの会社説明会では、入社前後のギャップを減らすため、社長自ら登壇してメッセージを伝えます。飾らず、会社の様々な面をオーブンに話すその姿勢も、新入社員の定着に大きな効果を發揮しているでしょう。

幹部の教育と
自分自身への教育

従業員一人ひとりの教育はもちろんですが、特に黒田社長が自らの手で力を入れて実施しているのは、幹部教育。複数ある工場拠点に赴き、社長の思いや考え方を定期的に共有しています。

そして、幹部に部下育成の権限を与えることで、「自分が部下を育てている」という自負が生まれ、責任感を持って部下と接するようになるとのこと。幹部の方たちが育成に向き合う意識もきっと高まるでしょう。企業と



QC活動の様子



タイヤメキシコからもQC活動に参加

いう組織のあり方を俯瞰で見る、経営者ならではの視点と言えるかもしれません。

また、黒田社長はご自身の教育も忘れません。「私の仕事は、良い品づくりを行う中で、人を創ることと勉強することです」との言葉通り、自ら多くのセミナーや研修に参加されているそうです。

どんな人でも、口だけの人にはついていきたくはないでしょう。反対に、組織を率いるトップ自身が自分よりも努力していれば奮起するもの。

社長という立場に甘んじることなく、ご自身が常に学び、考え、行動する姿が、従業員の方々を惹きつける大きな要因になっているように感じました。



株式会社黒田精機製作所
黒田 敏裕さん
代表取締役社長
所在地／愛知県名古屋市瑞穂区
電話番号／052-811-3106